

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【公開番号】特開 2019-82773 (P2019-82773A)

【公開日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2017-208761 (P2017-208761)

【国際特許分類】

G 0 6 F 16/00 (2019.01)

G 0 6 F 16/29 (2019.01)

G 0 1 C 21/26 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 0 6 F 17/30 1 7 0 C

G 0 1 C 21/26 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 4 日 (2020.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移動に基づく複数の地点の位置情報を含む移動情報を複数記憶する情報処理装置であって、

前記複数の移動情報に含まれる複数の地点の位置情報に基づき、前記複数の移動情報から抽出される部分の地点により決定される複数の部分経路を比較する比較手段と、

前記比較した結果に基づき、前記複数の移動情報において類似する複数の部分経路を表示する表示制御手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記比較手段は、前記複数の移動情報から抽出される所定数連続する地点どうしを比較することにより当該地点により決定される複数の部分経路を比較することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記複数の移動情報の間で、前記類似する複数の部分経路の中の地点どうしの対応関係を識別可能に表示することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記複数の移動情報の間で、前記類似する部分経路の中の地点どうしは、動的時間伸縮法より対応付けられることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

移動に基づく複数の地点の位置情報を含む移動情報を複数記憶する情報処理装置の制御方法であって、

比較手段が、前記複数の移動情報に含まれる複数の地点の位置情報に基づき、前記複数の移動情報から抽出される部分の地点により決定される複数の部分経路を比較する比較ス

テップと、

表示制御手段が、前記比較した結果に基づき、前記複数の移動情報において類似する複数の部分経路を表示する表示制御ステップと

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 6】

移動に基づく複数の地点の位置情報を含む移動情報を複数記憶する情報処理装置において実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

前記複数の移動情報に含まれる複数の地点の位置情報に基づき、前記複数の移動情報から抽出される部分の地点により決定される複数の部分経路を比較する比較手段と、

前記比較した結果に基づき、前記複数の移動情報において類似する複数の部分経路を表示する表示制御手段

として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、複数の異なる経路の中から部分的に類似する経路を特定できる仕組みを提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、移動に基づく複数の地点の位置情報を含む移動情報を複数記憶する情報処理装置であって、前記複数の移動情報に含まれる複数の地点の位置情報に基づき、前記複数の移動情報から抽出される部分の地点により決定される複数の部分経路を比較する比較手段と、前記比較した結果に基づき、前記複数の移動情報において類似する複数の部分経路を表示する表示制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明により、複数の異なる経路の中から部分的に類似する経路を特定できる仕組みを提供可能となる。